

テーマ：脳科学から見る肢体不自由教育

～肢体不自由に役立つ身体を動かすメカニズム～

実施日：令和7年9月3日（水） 13:15～15:15

本校では、教職員および地域の特別支援教育に関わる職員を対象に、専門性向上を目的とした研修を定期的実施しています。

今回は「脳科学から見る肢体不自由教育」をテーマに、**大阪教育大学 総合教育系 教授 大内田裕氏**を講師にお迎えし、研修を行いました。

研修では、脳科学の視点から肢体不自由教育を捉え、神経系と脳の基本構造、随意運動の仕組み、脳の役割などについて詳しく学びました。

特に、学習のサイクルがよく知られる「PDCA サイクル」と同様に、段階的に学びを積み重ねていくという考え方は、教育実践にも通じる重要な視点でした。

参加者からは、

「脳科学と特別支援教育が想像以上に近接していて、深い学びになった」

「普段なかなか自分では触れない分野のお話が聞けたので非常に参考になった」

といった声が多く聞かれ、専門的な知識と日々の実践をつなげる貴重な機会となりました。

今後も、科学的な視点を取り入れながら、子どもたち一人ひとりの可能性を引き出す教育を目指してまいります。